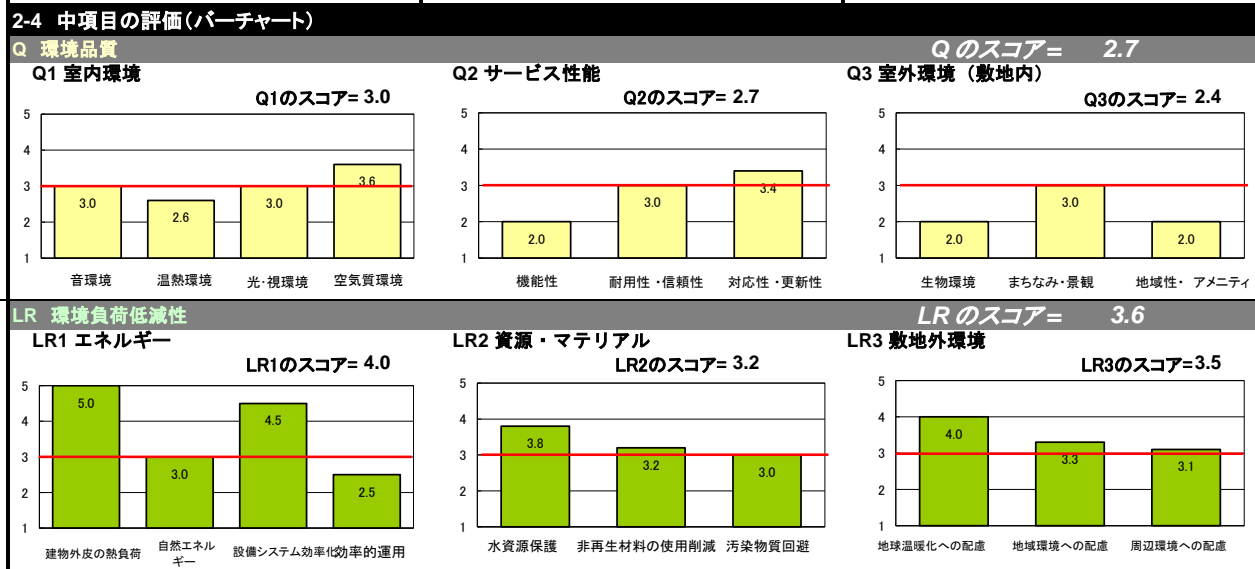
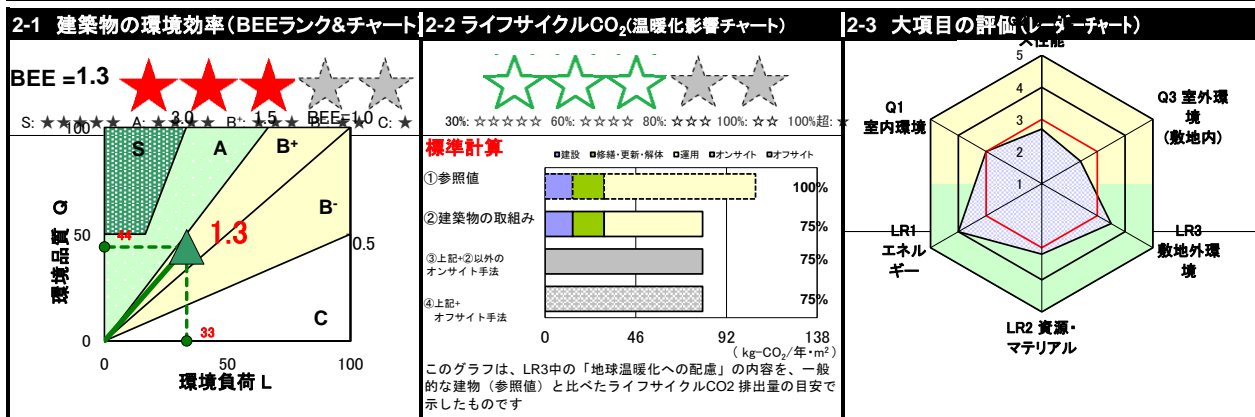


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	スタンレー電気(仮称)秦野第二製作所試験棟 新築工事	階数	地上1F
建設地	秦野市菅屋字明治畑242-2他、宇天塚戸473-3他	構造	S造
用途地域	工業専用地域、指定なし	平均居住人員	5人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,080時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年6月 予定	評価の実施日	2019年7月22日
敷地面積	14,289 m <sup>2</sup>	作成者	鹿島建設(株)横浜支店一級建築士事務所
建築面積	5,096 m <sup>2</sup>	確認日	2019年7月22日
延床面積	5,096 m <sup>2</sup>	確認者	鹿島建設(株)横浜支店一級建築士事務所

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項		
総合 神奈川県秦野市に計画された研究所である。		その他
Q1 室内環境 ・敷地内全面禁煙を実施。	Q2 サービス性能 ・耐用年数の長い配管材を採用し、建物の耐用性の向上に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー ・BPI <sub>m</sub> =0.42、BEI <sub>m</sub> =0.65、LED照明設備を採用。	LR2 資源・マテリアル ・節水器具を採用している。 ・井水利用をしている。	LR3 敷地外環境 ・燃焼設備は設けておらず、大気汚染防止に配慮している。 ・広告物照明は行っていない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される